10月30日 日曜日 29日発行
昭和30年 西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5 電話 代表 京橋(56)8646番 直通 販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝金杉川口町13 電話 代表 三田(45)8136番
振替貯金口座 東京170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3263号 (昭和24年6月27日 第三種郵便物認可・昭和24年5月27日 国鉄特別扱承認 第232号)
(中華郵政台字第637号執照登記為第2類新聞紙類・内政内警台誌字第0136号)

あすの暦 10月30日(日) 旧 9月15日
月齢 14.3 日出 6.00 日入 4.49 月出 3.53 月入 4.33 満潮 前4.25 後4.05 干潮 前10.36 後10.55 (大潮)

天気予報
今晩 北西の風晴、一時曇。
明日 北の風晴一時曇。


写真は二日目の会議場における左アメリカ代表(前列左から二人目ダレス長官)と右ソ連代表(中央モロトフ外相)(UP=サン共同電送)


東西・重要提案で応酬
四国外相会議第二日

【ジュネーヴ二十八日発=共同】米英仏ソ四国外相会議二日目は二十八日午後四時(日本時間二十九日午前零時)からパレ・デ・ナシオンの大会議室でマクミラン英外相司会の下に開かれた。この日の会議では、まずマクミラン英外相から欧州安全保障問題およびドイツ統一問題についての西欧側覚書が正式に提出された。引続き、ソ連のモロトフ外相は十五項目から成る全欧州集団安全保障条約の締結を提案した。このあと会議は午後六時に一たん休憩ののち、ダレス米国務長官およびピネ仏外相がそれぞれ発言し、マクミラン英外相から出された西欧側覚書の意義をさらに説明した。これで二日目の会議は終り、午後七時二十分(日本時間二十九日午前三時二十分)散会した。二十九日は休会予定を変更して午後三時(日本時間午後十一時)からモロトフ外相が議長で開かれる。

独統一と欧州安保
西欧 同時発効を提案

【ジュネーヴ二十八日発ロイター=共同】西欧三外相は二十八日の四国外相会議でドイツ統一と欧州安全保障にかんする段階的計画を公表した。この計画によると東西間の不可侵にかんする安全保障条約は統一ドイツが北大西洋条約および西欧同盟参加を決定したさいに発効することになっている。安保条約案の内容はつぎのとおり

一、欧州におけるいかなる奇襲攻撃も封ずるため、特別のレーダー警報装置を相互に設置する。この警報施設は統一ドイツの東部国境の両側に合意の上できめられる地帯に設けられる。この地帯の西欧側地区のレーダーはソ連その他の条約加盟東欧諸国の手によって操作され、東欧側地区では北大西洋条約参加国によって運転する、またこれらの地帯の兵力は削減することに同意する。

一、各加盟国は平和的手段により国際紛争を解決することおよび国連目的に合致しない方法での一切の兵力使用を慎しむことを誓約する。

一、各加盟国は侵略国にたいする軍事援助ないし経済援助を中止する。

一、安全保障条約はイーデン計画に基くドイツ統一に関する協定締結と同時に次にあげる諸条件の下に締結される。

❶安保条約は武力の行使を差し控えると共に侵略者に援助を与えないことを約し、兵力と軍備の制限および管理および侵略行為を阻止する義務を規定する。

❷右条約発効の時期はドイツ統一と同時とし、条約は段階的に実施され、その調印はイーデン計画に関する協定の調印と同時とする。また条約の最終的効力は統一ドイツが北大西洋条約および西欧同盟に参加を決定したときとする。

一、もしソ連のドイツ統一にたいする危惧がまず第一に安全保障問題にあるとすれば、この提案は解決に導くための受諾可能な交渉の基礎となるべきものである。この解決は全世界の安全に欠くべからざる地域(欧州)における安全への確信を創り、さらに広範な諸問題の解決を容易とするであろう。

一、双方は管理地帯内の武装兵力について情報を提供し合い、さらに奇襲攻撃に備えて相互に観察警備隊を交換することに同意する。

一、協定実施について関係国間で協議するという適当な条項を設ける。

一、協定は自己防衛の権利を変更するものではない。集団防衛協定参加国でない限り、無協定で他の国の領土に武装兵力を継続駐留することはできない。

一、参加各国は北大西洋条約加盟国による非加盟国に対する攻撃あるいは非加盟国による加盟国に対する攻撃は平和と安全をおびやかすものである。全参加国はこの共通の危機に対処するため適当な措置をとることに同意する。

期限50年の安保案
ソ連提案

【ジュネーヴ二十八日発ロイター=共同】モロトフ・ソ連外相が二十八日の四国外相会議で提出した欧州安全保障条約案は一九五四年のベルリン四国外相会議のさいのモロトフ提案および本年七月の巨頭会談でブルガーニン・ソ連首相が提唱した案をつきまぜたもので要旨は次のようなものである。

一、全欧州諸国および米国の参加する欧州集団安全保障条約(有効期間五十年)を締結する。

一、東独西独は再統一までは別々に参加し、他の加盟国と平等の権利を持つ。西独は侵略を一切行わないことを誓約する。

一、加盟国は欧州における侵略の脅威が生じたと感じたときは相互に協議する。

一、加盟国は被侵略国にたいしあらゆる方法による援助を行う。

一、加盟国はこの条約の目的に反するような同盟ないし連合に参加しない。

ソ連極東問題で大国会議提案

【ジュネーヴ二十九日発ロイター=共同】ソ連代表団のイリイチョフ・スポークスマンは二十八日の記者会見で『ソ連政府は極東問題にかんし大国会議を早期に開始せよという中共の提案を考慮している』と言明した。この言明は記者団の質問に答えたもの。

民主、決選を回避
新党総裁 自由首脳を説得へ

三木総務会長ら民主党首脳は二十九日の新党準備会常任世話人会で、新党初代総裁に鳩山一郎氏を推す旨を表明して自由党側の見解を打診したい意向である。しかし民自両党が総裁問題で最後まで決選投票に持ち込むことは、保守党の将来に禍根を残すことになるので決選投票を極力回避するため、常任世話人会での協議と並行して緒方総裁以下自由党首脳にたいし個別的に会談して、民主党の意向を説明したい方針である。このため三木総務会長は準備会会長の資格で、できれば二十九日中にも緒方自由党総裁と単独に会見して緒方氏の真意をただしたい意向である。

脱会も辞さぬ構え
慎重派 六閣僚 "鳩山総裁"ならねば

河野農相は二十九日午前十一時半丸ノ内の東京会館に石橋通産、松村文部、大麻国務、三木運輸、大久保国務、花村法務の慎重派六閣僚を招き、保守合同問題について懇談すると共に、二十八日開かれた第一回常任世話人会の経過などを説明した。この会合は閣僚だけの集りだが大麻、松村、三木の旧改進系閣僚と大久保、花村の鳩山直系閣僚はともに合同慎重論を主張しており、その間、河野、石橋両相が調整役として保守合同の今後の態度などについて話合った。この会合の空気では初代鳩山総裁が実現しない場合は新党結成準備会からの脱会もやむを得ないとの態度が強く打ち出された。

初会合開く
新党世話人会

新党準備会世話人会は二十九日午前十一時半からグランド・ホテルで開かれ、岸民主党幹事長(常任世話人)から各委員会の割ふり、緑風会へのあいさつ、結党目標を十一月十日とするなど、二十八日の常任世話人会の申し合せを報告、これを了承、ついで大野議長から各世話人の意見を求めたが、篠田弘作氏(自)から『合同問題は公選可否の一点にしぼられている。速かに問題を進め、活発な論議に移して欲しい』との発言があったのみで約十五分間で会合を終った。

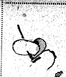

新党世話人会初会合 正面立てるは挨拶する大野議長、左へ三木武吉、石井、清瀬、水田、右へ岸、犬養、山口の諸氏

マリク全権の帰任遅れる
加瀬大使公電

日ソ交渉を控え十一月初旬にロンドンに帰るといわれていたマリク・ソ連全権は当分ニューヨークにとどまる模様である。二十九日加瀬国連大使から外務省に入った公電によると加瀬大使が国連総会に出席しているソ連のクズネツオフ氏と会談した際、同氏はマリク全権が十一月七日の革命記念日にロンドンに帰る予定だったが中止したと語ったといわれる。

"公選"を推進
自由党 懇談会で申合せ

自由党側の新党準備会常任世話人大野、石井、水田、松野、池田、犬養、船田の七氏は二十九日午前十時から党本部で、常任世話人会に臨む態度を協議、全員一致して総裁公選を推進、民主党側の同調を求める方針を決めた。

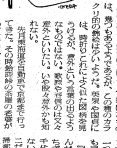
粋人酔筆


意外異外

世の中にはいろいろと変った研究者があるものである。東に筑波、西に富士を眺める東京の下町を流れている隅田川——あの両岸を究明に写真をとっている人がある。この人の考現学によると、吾妻橋を境にして上流の水面に流れているゴミの中に泳いでいるゴム製の袋が、いずれも一つ輪を通して結んであるそうだ。下流の方といっても厩橋から両国へんにかけては、それが結んでないという。上流の結んであるのはその種のプロ営業者のいることを示しているので、結んでないのは、実行してもプロの域にまで達していない素人くさい者がいることだそうだ。水洗便所であるから、管を通して、末は隅田川の流れに出てきたものなのだが、これじゃそのむかし白魚が取れやした、都鳥がおりやしたと、懐古趣味の通をふりまわしても、自慢にもならない。意外のところで学問をしたものである。

むかしの少年、少女雑誌へ挿絵を描いていたNさんといえば、生存中は相当に名の知れた人で、大まじめな絵を描いたものであったが、この人がその反動か、お女郎買いに行っては、必ず相手の女を裸にして、特にその一部をたんねんに写生していたのを見たことがあった。これなども意外である。

むかしの浮世絵師の描いた錦絵に、ときどき思いがけないものを見出す。鏡に向って化粧をしている湯上り美人のうしろ姿をかいてある歌麿えがくは、錦絵商のウィンドウや展覧会で見ることがある傑作の一つである。ところが同じ錦絵であるが、その鏡に仕掛があって、ガラスのその部分だけを上にめくると、うしろ姿の美人の前向きが映っている画がかいてある。この美人は心持ち股を開いたような形でいる姿であると思ったらば、その通りに鏡に映っているのは、何とその股の部分であった。しかしその線の美しさによって、何の不純さを見出さないのは、さすが歌麿である。春信えがく『こたつ入り娘の図』にもそんなのがある。初めはそうした画で印刷されたものが何枚か出たものらしい。これはその当時でも秘版とされたものであろう。一般に見るものは、そうしたところのない普通の美人画である。露骨に秘画として描いたものは、幾つもあるようであるが、この種のカラクリ的の錦絵は少いようだ。英泉や国貞には、時折りこれによく似た図柄を見うけるが、意外という言葉の出るようなものではない。歌麿や春信のは又々意外といいたい。いや股々意外かも知れない。



先月東海道を自動車で京都まで行ってきた。その時鈴鹿峠の茶屋の老婆が九十六才で、なかなかの元気で耳も近い(へんな形容であるが)ので、びっくりした。『食事は小さい茶わんに少し柔らか気味の御飯を一食に二つ位です。甘いものは大好きです』といっていた。今月は福島県の南にある湯岐(ゆじまた)という人はだぐらいゆるい温泉へ行ったところ、ここにも九十二才の老婆がいて『食事は日に四度、梅干を一ぺんに七つぐらいたべるぐらいの辛いもの好きで、甘いものは大きらい』といっていた。同じ九十代でも片方は甘党、片方は辛党であるのも変っている。どちらにしても長生きしているのはお目出度い。老人というものは一つ事をよく覚えているもので、何度きいても同じ事が一分一厘ちがわずに話される。

『あたしは十五の時嫁に行ったよ、その時よんだ歌に、甘かろか渋かろか知らねど柿の初ちぎり…とね』『お婆ァさん、それは加賀の千代の歌だよ』『加賀の千代、そんな人しらないね、あたしは天保二年の生れでね、九十二だよ』『九十二なら元治元年だよ』『井伊掃部頭様が桜田門で殺されたのを瓦版で見て知っているよ』『桜田門は万延の年だろう』『なににしても天保二年だから、お前さんより物を知っているよ』こう信じられては意外より異外である。

宮尾しげを

政界春秋
大磯流の逆手戦法
木村 儀兵衛

緒方竹虎が自由党を挙げて"新党参加"の腹をきめるに当って、吉田茂にあいさつせねばなるまいと、重い足を引きずり大磯に出かけた。吉田は『解党・新党・総裁公選の筋を貫き給え。民主党の強か者を相手じゃ名分を楯に戦わねばならぬ。黙って彼らのいいなりに付いて歩けば行く先はミジメに決っている。総裁・首相というものは戦いとるべきものだ。君に妥協を許さぬ腹さえあれば、党内一糸乱れず支援しよう』と、猛烈にハッパをかけた。

緒方は喜び勇んで『必ずやりとげましょう』と誓った。党内が今日ほど結束できたことはない、と吹聴するユエンだ。ところが、何ぞはからん、吉田から親切ごかしに"逆手"をとられたのだ。党内クロウト筋から『切崩されぬよう弱点を厳戒せよ』と緒方や石井幹事長に警報しきりに至る現状である。

民・自衆参両院議員数は、外遊者もあってほぼ同数である。鳩山首相は、『後に大きなシコリを残す公選には、ボクは反対だ』と逃げを打つキザシも見える。もともと両党内には、気に入らぬ連中で進める保守合同には賛成いたしかねる、という強い空気が根を張っている。両者ともに裏崩れする危険さえ包んでいる。

保守合同が万一にも破れたらどうするか。たとえ百名でも鳩山一党を足場に、国会解散を断行しよう。鳩山の人気は緒方を下回るものでない。選挙の結果は比較第一党に間違いない。そして日ソ交渉、日比賠償は現在程度で片づける。防衛費を大幅に削って幅の広い社会保障政策をやることで、社会党も選挙後はそう真っ正面から反対すまい、という楽観論に立つ。

合同消極論者に解散論がチラついて離れないユエンでもある。あくまで総裁公選で行くか、話合いか、何れにしてもシコリは残るのだ。公選でやれば却ってシコリは薄かろうという者、世界中にソンナ例は少いと反対する者、そうした問題をきめる採決も投票でやれ、それも記名か、無記名かといった争いも前哨戦になりそうだ。

『どうせ鳩山は長いことはない、一歩後退すれば二歩も三歩も前進できるのに、緒方は何というチエなしか』と双方に不満の色も濃い。ここまで漕ぎつけ得たものを、ご破算にする手もあるまい。公人としての鳩山、緒方の"面目の立つ"具体方法も考えられよう。が、一歩誤まると、収拾できない"七花八裂状態"におちいる懸念もある。大の男が寄ってたかって、笑われぬ御用心召さるるがよい。(敬称略)

東京株式仲値 □新株落 △配当落 (29日終値)							
				倉レ	129	小西六	109
				旭化成	400	カボン	40
				山陽パ	143	三井物	142
特定銘柄		信越化	95	日本パ	119	第一物	138
東海上	256	東高圧	156	国策パ	143	白木屋	255
郵船	61	昭電工	123	東北パ	123	高島屋	105
新三菱	77	日本曹	105	大東紡	101	日活	74
日清紡	263	旭電化	93	商船	47	松竹	218
味の素	307	三菱造	95	三井船	50	東宝	1330
三越	296	三井造	130	飯野海	60	大映	169
三菱地	498	三菱重	65	西武	370	日本粉	132
平和不	220	石川重	95	藤田興	214	日清粉	127
三井金	124	精工	140	東京ガ	82	日本ビ	184
三菱金	117	東洋ベ	126	東電	821	朝日ビ	196
日鉱	112	日立造	58	日銀	—	キリン	213
住友金	119	浦賀	64	東銀	56	宝酒造	129
三菱鉱	54	日平	17	三井銀	74	台糖	295
古河鉱	83	古河電	72	富士銀	89	明糖	135
同和鉱	140	日立製	83	日証金	74	甜菜糖	128
住友鉱	64	東芝	69	安田火	102	野田	217
三井山	68	三菱電	87	大正海	89	森永	185
北海炭	69	小松	62	住友海	84	明菓	185
東邦亜	76	日本光	147	千代田	75	日水産	102
帝石	75	キヤノ	166	鋼管	89	昭和産	118
日石	113	東京光	39	日製鋼	76	東洋罐	92
昭和石	140	東洋紡	167	八幡鉄	63	合同酒	148
東燃	138	鐘紡	132	富士鉄	57	三楽	128
三菱石	150	富士紡	123	神戸鋼	55	大阪糖	180
大協石	148	大日紡	86	日特鋼	114	王子紙	255
日東化	104	日東紡	63	日軽金	178	十条紙	290
日産化	88	片倉	33	日金工	73	本州紙	100
三菱化	126	東邦レ	120	日セメ	166	三菱紙	92
三井化	137	帝麻	36	磐城セ	293	北越紙	70
協和醱	134	中織	46	小野田	93	三井不	801
東合成	148	帝人	157	横浜ゴ	155	三井倉	92
三共薬	178	東洋レ	203	旭硝子	178	渋沢倉	80
		三菱レ	132	富士写	157	東洋埠	225

市況
続進歩調

きのう一週間ぶりのもどりをながめて人気は明るく大証券買も一段積極化しているので休日控えの市況は全面的に続進歩調をたどっている。特定株は雑株に人気を奪われて気乗り薄場面となり、味の素がマバラ買に小確り他は概して弱含み。雑株は化学、電力、電機、諸工業食品、資源株などに前日来の買気が続いて十円内外一段高をたどるもの多く洋罐など二、三小安いものを除いてはおおむね全面高の好調を持続した。商内も引続き活況を呈して概算千万株。▽高い株=日立工機十五円、臓器十四円、旭化成十一円、楽器、九州電、三洋電十円、洋罐頭九円

地獄耳

サテも熱心な

保守合同も今の姿じゃ、合同どころか大ゲンカだ。とりあえず秘書でも選挙区(滋賀県)に帰し、敵状を偵察させて来ざあなるまい。誰かある、秘書を呼べ秘書を。何ッ、おらない。探せ探せ、心当りに電話をかけるんだ。(堤康次郎氏)

選挙区もうで

『日航に座席を申込めよ』と叫んでいる。『えらくヒンピンと帰るじゃないか、北海道までそう度びたびじゃ叶わんネ』とハタが同情(?)すると、『なに週末旅行さ、熱海に往復する位のものだよ、降りてからチョッと時間はかかるがネ』と気軽くいう口の下から、回り残したところもあり、チョッと挨拶くらいはネ…。(南条徳男氏)

『宮崎の台風被害は百二十億にも上るが、新潟大火にお株をとられそうだ』と、補助金整理委でニランでいるのもどこ吹く風といった様子で、もう一度帰らにゃ……と張り切っている。(川野芳満氏)

ないがい川柳
吉田機司選

仲人も借り着で並ぶモーニング 北 松本いはを
松茸へ素性が知れるつまみ方 横浜 市野三七
映倫はたのしんだあとハサミ入れ 城東 法界坊
老人にそっぽ美人に席ゆずり 品川 蝸牛
旅の宿食べ物よいと子の便り 神奈川 北村やなぎ
お会式へもまれるだけの数珠を下げ 千代田 南渡波
見ぬようで見るは定期と綴じりめん 葛飾 野猿坊

内外抄

外相会議、双方が提案の突っぱりあいで『ジュネーヴ精神』に異状。薬の盛りようもない。
◇
会議がゴテているとき、中東のあちこちでの騒ぎ。四国外相いずれもノイローゼとなる。
◇
三木狸老が緒方氏と談合を希望。緒方氏、手につばをつけるより眉にツバをつけること。
◇
米から寄贈の百万人分の粉乳が不合格。日本はうるさくて神経過敏ですからお気をつけなすって。
◇
十八才未満の質入れお断りとなる。不良『質入れが出来ぬなら現ナマを狙うよりほかねェ』

青春無宿 (172)
大林 清
下高原健二 画

黒い死(七)

海には一面に乳色の靄がたてこめていたが、やがてその厚い壁のむこうに陽がのぼり、刻々海の色がにじんで来た。

なんという飛行機なのか、単発単葉の小型機が、問題の密輸機だということで、大反野はそのそばをはなれなかった。

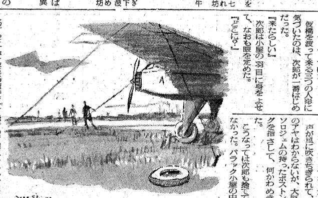
町なかでは風がない筈なのに、ここは遮るもののない吹きさらしのために、海を渡って来る風がかなり強く、兆子はバラック小屋の陰にうずくまっていた。

仮橋を渡って来る三つの人影に気づいたのは、次郎が一番はじめだった。

『来たらしい』

次郎は小屋の羽目に身をよせて、なおも眼を定めた。

『どこに?』



兆子もさすがに緊張の面持で立ちあがった。

三人の先頭はソロジェムだった。次が片腕のハロヌーク、しんがりはやはりヴァルマンの部下のもう一人の安南人で、それぞれ手に旅行鞄やボストンバッグをたずさえているのは、飛行機で高飛びするにちがいないといった大反野の推定を裏付けていた。

三人がむかい風に吹きなぶられながら、飛行場の柵のむこうまで来た時、大反野はやっとそれをみとめた。一瞬身構えるような格好をしてから、靴を踏むように小屋の前へ走りもどった。

『宇田さん、来ましたぞ。あのボストンバッグだ、ヴァルマンはあれに金をつめて持って行ったんです』

その時、ソロジェムたちもこっちに気づいて立ちどまった。

『あんたも来て下さい。乱暴を働くような場合はたのみます』

大反野はせかせかとそう云いのこすと、ソロジェムやハロヌークのポケットに、拳銃がひそめられている危険などは夢にも思わないらしく、素敢に三人の前へ近づいて行った。

ソロジェムたちはその大反野に気をとられて、次郎がいるのにはまだ気づかないらしい。三人顔を寄せて何かささやきながら、大反野の近づくのを待つ様子だった。

声が風に吹きちぎられて、言葉のアヤはわからないが、大反野はソロジェムの持ったボストンバッグを指さして、何かわめき立てた。

こうなっては次郎も捨てておけなかった。バラック小屋の中には飛行場管理人もいる、電話もある。まさかにソロジェムやハロヌークがいきなり拳銃を撃ちはなすこともあるまい。そう判断すると、ヌッと小屋の陰から出て行った。

三人の安南人ははじめて次郎だと知ったらしく顔色を変えた。

『そのバッグを渡せ!』

大反野は手をのばして、ソロジェムの持ったボストンバッグを奪おうとしたが、

『何をしますか』

と、ソロジェムの別の手に胸を小突かれて、他愛なくよろめいた。

安南人たちにとって、大反野はもはや問題ではなかった。伊豆山海岸で命の奪い合いをした次郎が眼の前へ現れたのである。息づまるような殺気をみなぎらせて、次郎の出様を待つように見えた。

ニュース ストーリー

"桑は栄えて娘は枯れる"なんのことはない幕末勤王志士の『桑は栄えて葵は枯れる』の逆のような合言葉が上野葵部落の一部で取り交されていた。これは既報全国に娘売り買いの魔手を張りめぐらし、上野署にあげられた前科十一犯チビ石こと石井喜作(四二)同六犯箱田征三(四六)同七犯藤井俊雄(三七)同九犯政司政吉(五三)同三犯網島きくえ(四三)同一犯樋口政一(三九)の六人組『桑誘拐販売株式会社』の偉業なのだ。さらに係官を呆れかえさせたことは、六人組の殆んどが営利誘拐前科五犯以上のベテラン揃いで六人の前科合せて三十七犯、十一犯の石井が大株主で取締役社長に納まり、前科によって出資株数を分け、配当もそれによるというから恐れ入る。しかもその営業方針? たるや、家出娘係り、不良娘係り、クロウト女係り三部にわけ、これまでにない変った手口で百数十名の女を売り飛ばしていた。(江)


箱田　藤井　樋口　網島　政司


主犯石井

娘誘拐販売株式会社

六人組、合わせて前科37犯

上野公園葵部落に巣食う

猟場は駅の周辺 騙し易い生理期

家出娘係り

◇まず家出娘係主任前科七犯藤井俊雄の弁をきいてみよう。『ノガミに四、五年も飯を食っていれば、これが家出娘かどうかはすぐ見わけられますよ。それが出来ない奴をわれわれ仲間ではガンニブ(眼が鈍いの意味)といいます…』トックリ・ジャケツを着、優顔の彼は、そういいながら彼のひっかけた一つの例を得意気に語った。それによると……

◇昨年の秋、秋田県雄勝郡三関村から家出し、葛飾区小菅町に女中をしていた佐藤秀子さん(二〇)=仮名=が、女中勤めがいやになり上野駅公園口をブラブラしていた。いいカモだと直感し、藤井は読みかけの本を彼女の前でわざと落し、それをきっかけに話の糸口をつけた。『どうしてこんなとこに立ってるの、家出娘と間違えられるよ、さあ僕の家にでも遊びに来たまえ』とやさしく誘った。恐ろしいワナがあるとも知らずに彼女はまんまとひっかかり藤井の家につれこまれた。『こんなむさくるしい家だが、いまボク家を建ててるんだ。君が好きになったから夫婦約束しない…』こういって遮二無二花を手折った。二、三日して不安になった彼女が『家に帰して下さい』と哀願するとガラリと態度をかえ『夫婦の約束をした以上お前は俺のものだ、いい働き口を世話するから待て……』と親分石井らと共謀し、茨城県土浦市栄町の"きくよし"に表面は女中として住みこませたが前借一万円で売り飛した。藤井は係官に、女が騙されやすいのは『月経前かあるいは月経最中の心が動揺している時ですよ……』とうそぶいている。

"あす逃げて来い" 売った金を猫ババ

玄人女係り

◇社長株の石井喜作とその手下樋口政一は玄人のズベ公を釣るのが専門だ。上野付近でブラブラ街娼をしてた川口市の山村君子(二)の場合をみてみよう。それはさる五月五日の夜、駅の座席売りなどをしていた顔見知りの石井に彼女は『いいもうけがあるんだよ、一口乗らないか――』といわれた『どんなことをするの――』と彼女にきかれたとき『いまやっているお前の商売さ、そのタマなら二万円は借りられる。行ったら翌日[illegible]まま逃げてしまった…』と門前払いをくった。せっかくつれ出した玉に逃げられてはと、そこは社長格の石井は、お次の手をちゃんと考えていた。その足で大宮市宝町の三島屋に連れていった。ここは石井人身販売会社の直系店なので、うまく売込んで前借金二万円[illegible]

[illegible]もつ網島きくえ(四三)である。彼女は石井の傍にあり『あたしが困った時は私がなんでも一いますよ…』と女房役をつとめている。その一例は今年の春石井の手で銚子の飲屋に売り飛ばした女―田口久子(三五)―が馴染客といい仲になり、彼女は稼いだ金を全部男に入れあげ、あげくの果は男に袖にされてしまった。

◇無一文になった久子は同家に働いても借金がふえるばかりなので、石井親分のところに泣きついてきた。困った彼はこのタマをどうしようかと頭を痛めていた時に網島がやってきて『親分らしくもない、そんなこと簡単じゃァないの、私の妹にして遠く高岡へ転売しなさいよ。一番手っとり早いじゃないの―』といって早速彼女を網島の妹にして赤線から赤線へタライ回しをして、二人で一万数千円を儲け、同様の手口で玄人女のタライ回しは七、八人に上っている。


上野葵部落かいわい

安定所前でカモ探し

網にかかった中年増

◇箱田征三と政司政吉は結婚に破れた中年女とズベ公係りでこの会社では業績を一番あげており、配当収入は一番よかったと取調べの係官はいっている。福岡県立某高女を卒業し、結婚に破れた安西美津子さん(三二)が箱田の魔手にかかった手口はこうだ―二年前、結婚生活に破れた彼女は世間態をはばかって昨年暮九州から家出し、杉並区馬橋の実妹(二九)さん方に居候をしていた。いつまでも世話にもなれず、さる三月職を探しに上野へやってきたが思うような働き口もなく、妹の家にも帰りたくないところから、喫茶店のいすにもたれてしょんぼりしていた。そこへ安定所からずうっとつけてきた箱田がわが意を得たりといった顔付で現われた。

◇『さっきあなたが行った安定所に関係している者ですが、働き口がなくってお困りでしょう。私の家へいらっしゃい、S紡績会社の重役がきょうくることになっています、絶対私を信頼して下さい』そういって同部落へ連れ込み二、三日するとかねて連絡済みの肥えた特飲店主がやってきて美津子さんに『あなたが職を探していらっしゃるのですネ、いい勤め口がありまする……』とのこと、美津子さんが仕事の内容を聞くと『茨城県龍ケ崎の割烹料理店で真面目なところだ、変なことはさせない』と自信たっぷり。安心した彼女はそのまま彼(指名手配中)と一緒に龍ケ崎までいったが、実は赤線区域で箱田はちゃっかり二万円の前借金と手数料二千円をせしめていた。箱田は『安定所の前に立っていると素人のいいタマが案外ひっかかるものですよ――』とふてくされていた。

『よい働き口』にご注意!

上野署次長鈴木忠一氏談

こんどの人身売買団はなかなか組織的であり、上野駅を中心に家出娘や生活に困っている中年婦女を狙い、被害は関東、東北は勿論、全国的に及んでいる。被害者中には後難をおそれてまだ届け出ない者もあると思うが、当局に申し出てほしい。いままでの被害者をみると駅の付近や公園などで、職を世話するといわれ簡単に彼らの術中におちいっているのが殆んどだが、このような甘言や誘惑に絶対乗らないように、注意すべきだ。また職業安定所付近にもアミをはり、職探しの女性や家出娘らしいのを見つけると『良い職を世話する』といいよってくるのにも警戒すべきだ。

夜寒む異変

続 風流交番日記

中村獏

[illegible]

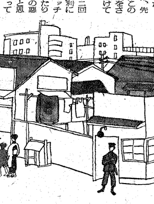
ん冷えるに従って布団が冷めたくなり湯タンポを使ってわざわざ冷やしちゃったみたいだった

『だから止せといったんだよ』

『悪かったな、とんだ間違いだ』

私は和田君に恨みをいわれ[illegible]

私はぶつくさいいながらぬれた布団を干した。お隣りの染物屋さんの物干を借りてカーキー色の布団を干したのである。交番の布団は極安物で古くて汚ないから、こんな布団を人目に曝らすのはいやだったが、濡らしたので止むなく干し[illegible]



[illegible]

『はあ? は!』

私はおばさんのいう意味がよくわからなかったが、ははあん布団のことだなと合点がいった。おばさんは私達誰かが夜尿症つまりオネショをしたと思っていたのである。

『と、とんでもないことです』

私は冷や汗をかきながら湯タンポの件を説明してやった。

(え 永田 力)

風流世界譚 (インドネシア)

小スンダ列島西端のバリ島は愛の技巧のこまやかな点で世界的に知られており、燃える太陽の下で日夜愛情の交換?に熱中していますが、なかにはアポオ青年のように熱帯ボケして、いささか血のめぐりの鈍くなった男もあります。この頃では踊りの仲間にも加わらず、いつも日暮れになると、岩かげに腰を下して、赤い夕陽の沈むのをボンヤリ眺めてばかりいます。そこで友人のラジャが心配して、『どうしたんだね?』とたずねると、アポオは白い歯をムキ出しにしてニヤリ、『実は、白人の旦那方のおっしゃるランデブーとやらのマネをしていたんだよ』『ホホウ、で、その相手は』『ホレ、あの、色は黒いが南洋じゃ美人のレオだ』『フーン、レオの娘ッ子か。それでうまくいったかね?』するとアポオはちょっぴり悲しそうに、『ランデブーちゅうものは、一体いつまで待ってるもんかね?』というので、ラジャが驚いて、『どのくらい待ったんだい、お前?』『半年だよ』『それでレオは来たかい?』『うんにゃ、他の男と結婚しやがっただ』

モダン歳人記

紅葉と裸美人

明治三十六年十月三十日、『金色夜叉』で名高い明治の文豪尾崎紅葉が三十六才で没した。彼は東京に生れ硯友社を起し、江戸文学の流れを汲み雅俗折衷体の美文を綴り、巧みに人生の機微を描いた。

その作品には『色懺悔』『三人妻』『多情多恨』などがあるが、明治二十五年発行の『二人女』所収の"むき玉子"の一篇は、当時喧しかった裸体画問題に触れたもので、大久保蘭渓という洋画家におきよという美人を配し、これが後に裸体画のモデルになるという物語だ。生垣の間から『おきよ』の行水姿を覗く場面から始って、当時のモデル難を写している。裸体画問題は明治二十二年一月の『国民の友』所載、山田美妙斎作の小説『胡蝶』の口絵から始まり、美術界の問題になっていて、紅葉は『小品十種の内、裸美人』というものも書いている。『アア美ナル哉裸体美』という言葉で始る。同二十九年発行の『冷熱』はボッカチオの『デカメロン』第八日目の物語の翻案だが、口絵に富岡永洗筆の河中に浴する裸美人の半身を描いていた。彼のジャーナリスティックな面が窺われる。(鮭)

あすの運勢

高島象山

=十月三十日=

▲一月生―気運向上して努力効を奏し利達あり商人取引円満旅行吉
▲二月生―物事順調にして思いが叶い利達あり移転造作は差支なし
▲三月生―外交不利なり社交は深入りして迷惑を引き起す不和注意
▲四月生―物事に熱意を以て辛抱強く努力すれば栄昌あり改革は吉
▲五月生―目前のことに利あり小事は栄え大事大望は破れ易い注意
▲六月生―物事に勤静常ならず彼れよ是れよと気迷い自ら失敗招く
▲七月生―稼業大事と全力をあげて活動すれば栄達あり移転造作吉
▲八月生―物事人気もあり信用もありて栄昌あるも新規の事は悪し
▲九月生―何事も不用意より失敗を招くなお出先きで間違い有易い
▲十月生―何事も都合よく順調に進展する他力を信頼すること勿れ
▲十一月生―漸次好転して思いが通じ利達あり内外共に和楽ある也
▲十二月生―外に間違い不安を生じ易く内に不和身内に心配事あり

お断り

二十三日付『日活演技課長心中未遂事件』の大映キャメラマン山崎巽氏はすでに日活に移籍、現在大映撮影部にいる山崎良夫氏とは関係ありません。

東海毒婦伝 青とかげ (113)

野沢純　土端一美画

江戸の八巷(六)

『お直ではないか――』

『ほほほ……そのお直が久々ぶりに、風の便りと聞きつけて、報恩寺横丁へ降り立ったのさ。どうだえ玄関番――これで仔細がわかったかえ?』

勝ち誇った如く、ながし目に、じろりと眺めて、

『ほほほほほ……何てェ顔をしてるのさァ。ちょいと源さん――上らせて貰うよ。いやさ、奥方さまのお越しだわな。誰か早く案内しないか。ぽんつくだねえ。あ痛たた……』

わざと大仰な音をあげたと思うと、

『腰の打身が、まだ治らないんだよ。手ぐらい貸したらどうなのさ!』

昨日は与次郎をおどかした、実悪(じつあく)もどきの源十郎も、さすがに顔まけのていである。

無言で思わず手をさしのべる、源十郎につかまって、やっとのように立ちながら、近くに控えた与次郎と平次に向って、

『お前さん達は供待ち部屋で、ちっとの間待っておいで』

飼犬にでも物をいうような口ぶりである。

源十郎の目はしがチラと、与次郎の上に走った。

目と目が合うと、与次郎が、にやりとばかり、歪んだように片笑った。

『今度来る時は覚悟で来いよ』

金は金でも銀の伸べ金、錆刀もないではないぞ――とドスをきかせて目くまを張らせ、じろりと睨んだ。そのちよろけんが、またのこのことやって来たのだ。

しかも、お直という女を土産に駕籠に乗せて――。

(野郎、牡丹に桜の赤よろしをイキナリめくりでぶっつけた気でいやァがるな――)

苦く笑って奥へ引っ込む。無論、お直も一緒である。

『源さん――さっき今しがた玄関番がいうことには、御前は只今奥の広間に、門弟を集めて、ご指南中とか聞いたけど、一体何のご指南だえ? 後学のため、ちょいと覗かせて貰おうじゃないか。まんざら読めないあたしじゃないよ』

源十郎の肩にもたれて、片足を引きずるように歩きながらお直がいうと、

『ふふふ……』

源十郎は、ひくく笑った。

『大方おめえの、図星通りよ』

『図星というからには、やっぱりアレだね?』

『お祭し通りだ』

『どれ――見せてごらんな』

通りかかった広襖。取手に手をかけ、一、二寸そっと開けると、人肌くさい温気がもれて、二十畳間にざっと平ぞく。

屏二間衾に雁首が、向い合ってずらりと並び、もんもんの両肌ぬいだツボ振りが中に座って、



『さァ、どっちもく!』

と、ナイガイ賭博の真っ最中だ。

とんだ軍学指南があったもの。甲源流ならぬ袁彦道(えんげんどう)は、御判行の裏をゆく丁判ばくち。

武士もいれば浪人もいる。中には商家の旦那もまじって、出方がしゃがれた声も低めがちに、

『張った、張った! さァ張った! 丁あと五両だ。黙って見ていちゃ当らねえよ。張って悪いのはオヤジのアタマ。見ていて当るは石屋の粉ッパだ。張った張った、丁あと五両!』

お直はそっと襖をしめると、

『大方こんなことだろうと、思っちゃァいたよ』

『ふふふ……お直、とにかく久しぶりだなァ』

『尾張屋へ押入り以来の、絶えて久しい対面さ。お前さんには、いくらもいいたいことが、たんと胸にたたんであるよ。それこそ切られの与三郎が、お富を前でのセリフじゃァないが、この屋敷のあれえざれえ、カマの下の灰までも、あたしのものだ。さァそのつもりで、腹を据え、つけるカタはつけるとして、じっくり話しをしようじゃないか――』



新宿の暗黒面

赤・青線にはびこる暴力商法

追はぎ"賭博売春" 客引きはみな危ない

鞍替えしたパチンコ寄生虫

新宿二丁目特飲街を中心にその周辺のもぐり売春宿にからむ人身売買、また悪らつな客引きや暴利、ヒロポンの取引など凶悪犯罪の温床ともなりかねない"新宿の暗黒面"一掃にのり出した四谷署では去月末からすでに五十余名の売春婦やポン引、ポン患者、十三軒の悪質業者を検挙したが、一方連発式パチンコ禁止以来パチンコの寄生虫的存在だった"パチンコ渡世者"たちが最近しきりにこの暗黒面に出入し、脅しやインチキ賭博など目にあまる"悪のあがき"で新宿をおびやかしているという。そこで同署や街の人たちから最近の"ジュクの暗黒面"をのぞいてみた。

○…まず四谷署に寄せられた被害者のいくつかの投書から暗黒街の断面をのぞいてみよう。『女性が嫌なら賭博も出来ますぜ、面白い位もうかるんですがね、旦那……』と新宿の裏通りでポン引に誘われた。賭博の好きな私は番衆町のある温泉旅館に行った。サイコロ、花札、麻雀と十数名の若い男たちが開帳してたが、花札をやった私は二時間の間に五千円をまきあげられた。身ぐるみはがされなかったのが幸いで、勝負は半分脅し同様、帰るのもやっとでとんだ散財をした。新宿なんて恐しい所です。（千葉・K生）

二丁目の中を歩いていると女にキャッチされ、遊ぶ気になったところ"花札賭博に勝てばタダで遊ばせるワ"との話、女は負けるたびに着物を脱ぐ約束で花札を始めたが結局泊り代は五千円というベラ棒に高いものになり、断ると用心棒らしいアンちゃん数人にとり囲まれ、脅かされたあげく無理矢理に払わされた。こちらに弱身があるので泣き寝入りしたが何とか取締れないものか。（北区下十条・会社員）

と、このところこんな投書が同署にヒンピンと舞いこんできている。

○…同署でも同様な被害の聞込みからさきに新宿区番衆町三六旅館業五島正吉（四八）方はじめ数軒のもぐり売春宿兼もぐり賭博所を手入れしたが"花札の正吉"で名を知られている五島は逃走中、彼は今春も捕ったことのある"青線男"で、当時は五人の女を抱え、よく稼いだ女には特別賞与を、ポン引には酒代をはずむと抜け目ない青線商法を考えていたが、出所後はその金で割烹を経営、今度は売春婦を女中に仕立てて表面は合法的？な一方、賭博も開帳するというあくどい新手な二本建て商法をやり客から金をまきあげていた。

○…連発式パチンコが禁止になってから半年、新宿周辺にたむろしていたグレン隊約百人は、パチンコ屋の店先から姿を [illegible]

[illegible] られる』と近くの交番に訴え [illegible] あるバーの主人は『ポケットにこぶし大の石を入れてカラカラと鳴らし、なんとなくすごませる青年が増えた』と歎く。『毎晩のようにタカられる』とこぼす料理店主もいるが、その多くが後難を恐れて届出ないのが実情のようだ。

和田組幹部ら検挙

ポン窟手入れ

警視庁覚醒剤特捜班では二十九日までに新宿区花園町三五無職和田組幹部荻野善治（三九）同区東大久保一の四五四金崎アパート内無職篠原勇こと黄勇（三〇）同アパート内無職岡島四郎（三〇）の三名を覚醒剤取締違反容疑で検挙した。調べでは荻野は和田組の幹部でさきに同区歌舞伎町八五五に喫茶店『ゆかり』を経営、ここを新宿最大のポン窟としてヒロポンの密売をしていたが、さる五月検挙されると共に同ポン窟は潰滅、同人も六月二十四日十万円を積んで保釈ののち去月末金崎アパートの三畳間を借り子分の黄ら二人を使い再びポン窟を経営、夜の女や自動車運転手、土地の不良などにヒロポンを密売していたもの。

日本野球界へフリック氏の忠言

離日に際し質問に答う

高校生引抜きは問題

太平洋シリーズ実現可能

ニューヨーク・ヤンキースとともに来日した米プロ野球コミッショナー、フォード・フリック氏は二十八日夜の離日をまえに日本プロ野球界の首脳部と会見『日米太平洋選手権の開催』などを討議し、さらに日本側から提出されたプロ野球の組織、運営などについての質問書に回答を約したが、この質問書の英訳が間に合わなかったため、後日フリック氏から意見を郵送して来ることになった。しかしとくに本社のもとめに応じてフリック氏は質問書のおもな点である『日本とコースト・リーグの間の太平洋選手権の開催』さらに『高校や大学の在学選手がプロ球団と契約した場合の取扱い』などについてつぎのように意見を述べてくれた。



語るフォード・フリック氏

――いま日本側では毎年の米国パシフィック・コースト・リーグ（3A級）の優勝チームと日本の選手権チームと『太平洋選手権』といった形のゲームを行いたいと希望しているが。

フ氏 実現の可能性はある。現在の日本チームなら七回戦を行うとして、たとえ勝ち越すことはできないとしても二、三回は勝てると思う。

――日本ではいま、在学中の大学生や高校生がシーズン中にプロ野球と契約した事実が明るみに出て問題になっているが、米国ではそのような場合どう取扱うか。

フ氏 高校生は在学中に絶対に契約してはならないというハイスクール・アグリーメント（高校選手契約にかんする協定）がある。在学中はもちろんのこと中途退学でも高校選手をやめてから一年を経なければプロ球団と契約してはならないことになっている。

――では各プロ野球チームは高校生をどういった方法で獲得するのか。

フ氏 高校生がプロ入りする場合彼等はすべてプロ入りの意思を先ずコミッショナー事務局に書類にして提出しなければならない。コミッショナー事務局はその書類をコピーにして、全十六球団に回覧することになっている。つまり、高校生は必ず先ずコミッショナーの承認をえなければプロ入りはできない。各球団も書類が回覧されるまでは絶対に契約の交渉をすることができない。

日本にもほしいコミッショナー

――では大学生の場合は？

フ氏 高校生と違って在学中でも自由に契約を認めている。

――違反した場合は？

フ氏 たとえば高校選手が違法の契約をした場合、コミッショナー、つまり私は契約を無効にし球団は罰金を千ドル－二千ドル支払わなければならない。プロ野球のなかでルールを守り通すためには是非とも強力な権限を持つコミッショナー制度が必要なのだ。

東京六大学野球

立大対東大一回戦（二十九日神宮）

立教	000	211	―
東大	000	001	―

【立大】先攻	【東大】
（二）古田	（一）鈴木
（遊）本屋敷	（二）金谷
（左）大沢	（遊）海老坂
（三）長島	（捕）坂上
（一）矢頭	（中）日高
（捕）保坂	（左）小柳
（中）竹島	（三）千野
（投）杉浦	（右）辻
（右）福村	（投）原田

ミナト・ヨコハマ Yライン

⑧ フェリー・ボート



文 北林透馬　え 森比呂志

"妖しき税関"は消えて

ミス・シップも夢の彼方

通称『大桟橋』とかメリケン波止場（ほんとはイギリス波止場なんですがねえ）で知られているサウス・ピーアへ行ったことのある紳士淑女は、橋畔の右側に公衆便所のあることを御存じだろう。知らないとすれば、すくなくとも紳士じゃないからね。（失礼）

あの便所がクセモノだった。ダジャレをいってるんじゃありませんよ。例の朝鮮動乱の華やかだった頃は、この便所の近所が、また実に華やかだった。

夜になるとパンスケ諸嬢が現れる。これがまたネッカ・チーフで頭を結え、ジャケツの腕まくり、サンダルかなんか突っかけての、おっそろしく威勢のいいのばかり。

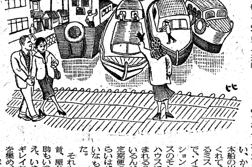
いや 偶然にそういうのが集ったわけじゃない。そういう威勢のいいんでなけりゃあここへは出て来られなかった。つまりここでは『腕ずく』でお客の争奪をやらなけりゃあならなかったからだ。

どうしてそんなことになったかというと、この付近から沖にアンカーしている輸送船への定期便が出る。何しろ当時はヨコハマ開港以来こんなに船が入ったことはない、というくらい港内に船があふれていたんだから、この乗組員が定期便でここへあがってくるとすれば、キャッチするには絶好の、しかも最前線ということになる。

また、陸へあがって本牧やチャイナタウンで遊んでいたのも、ここまでくれば、もう定期便の時間を気にしないですむ。ちょうど新橋駅前のおでん屋が、終電からのカマクラ組で繁昌すると同じ理由で『もう一杯やりてえな』という連中のために、必然的にビールを飲ませる屋台店が出来た。

この屋台店、昼間になると取っ払ってどこかへ持ってっちまう、というヨーリョーのよさだ。

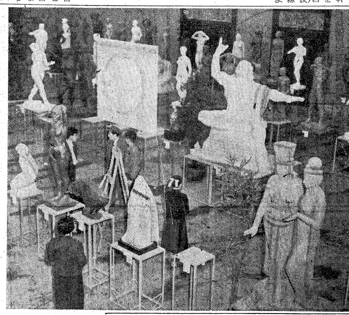
これがパンスケ嬢の溜り場になるのも必然だし、場合によっては、ついにその神聖なる職場と化すのも、また自然の推移というもので致し方ない。



ところで、また誰もが『定期便』の時間を気にするとは限らない。ナイス・ガールを相手に大いにナイスな気持になっていれば、つい時間のことは忘れるだろうし、『しまった！』てんで、あわててタクシーをすっとばしても、最終定期便におくれてしまうのもある。

のもある、なんて段じゃない、かんじんの本船の出帆におくれて、いわゆるミス・シップで、イミグレーション・オフィスのモンキィ・ハウスにブチこまれるのも沢山いるんだから、定期便のミスぐらいはザラみたいなもんだった。

それもいまは昔、屋台もパン助もいつしか消え、いまでは小ギレイなボートを集め、フェリー・ボート会社なんてのが生れて、本船まで無事送り届けてくれている。まずはメデタキ次第。



美術の秋たけなわ

きょうから日展開幕

美術の秋たけなわの二十九日、第十一回日展が上野公園の都美術館で開幕した。快晴の天気に恵まれて初日の人出は多かったが、ことしは彫塑科では男女の裸体像が目立ち、また"長崎の平和記念堂"などが人目を集めていた。

【写真は開かれた第十一回日展】

高校生 人妻を刺し自首

二十八日夜十一時ごろ父親につきそわれた高校生が『十日前に女の人を刺しました』と麻布署に自首して出た。調べでは港区麻布新広尾町日大二高二年生N（一七）で、さる十七日夜七時ごろ学校からの帰り杉並区阿佐ケ谷三の五二八会社員猪熊丈夫さん（三五）方前を友人たちと騒ぎながら通りかかったところ猪熊さんの妻りつさん（三五）に『静かにしなさい』とたしなめられてカッとなり飛出しナイフでりつさんの右下腹部を刺し二週間の傷を負わせて逃走、十日間転々としていたが、二十八日夜帰宅したところ父親に叱られ自首したものと判った。

厭世自殺

二十九日朝六時半ごろ港区芝公園二十三号地の深さ一尺ぐらいの溝の中で紺色作業服、黒ラバソール、丸刈り二十才ぐらいの労働者風の男があお向けになって死んでいるのを通行人が発見、愛宕署へ届出た。同署の調べでは青酸カリを飲んだらしく、持っていた黒革手帳に『おじさんにお世話になったが、仕事もできず迷惑をかけてすまない』という意味の事が書かれており、厭世自殺とみて同署で身許を調査している。

幼な子が渡りぞめ

交通安全、新しい信号塔

○…交通安全旬間も最後の追い込みに入ったきょう二十九日は朝から秋晴れのよい天気、この日渋谷署では午前十一時から今度新しく渋谷区中通二の四二並木橋交叉点に新設した信号塔一基の渡り初めを行った。

○…来年学校にあがる近くの金王幼稚園のよい子たち百八名が揃いの青い制服姿で二名の先生に引卒されて通るのを関口署長はじめ交通指導のお巡さんたちもニコニコ顔で見守った。



【写真は並木橋信号塔の渡り初め】

ふし穴

[illegible] 青い灯赤い灯の道頓堀もこのところデフレの冷い風で昔のような景気はさっぱりなく、業者もテキマヘンの連発なという。その上、風紀方面の取締りも厳しいので正に泣きっ面に蜂。東京と同様飛田、松島の赤線地区も [illegible] 目立ち、[illegible] 十二時 [illegible] 過ぎる [illegible] 桃色の [illegible] ーテン [illegible] せいにおろしてしまう『オールナイトよ、たっぷり浴槽につかってね…』なんてことは遠い夢――そこで飛田、松島両新地の最近の表情をみてみる――

◇"飛田新地"は業者数約百十五軒。接客婦は千三百名といっがもぐりを入れると二千名は越えるとのこと。この地区最近の悩みは、ネオンを消して自粛取締以後ヒモ付夜の女が流れてきてタンピングをし、客をとっていることで、朝鮮事変ブームのころは水揚げ五百万円は一夜にあったが、昨今は三百万円を欠けると弱音を吐いている。お次は松島新地だが、ここはいま百九十五軒、接客婦は千名を下回ってきた。もっともここでも、もぐりの女は相当いるとのこと。飛田同様十二時過ぎは呼び込みは御法度、ネオンも消える。それにこの付近にちか頃エントツ女というのが出現し始め、赤線業者脅威の的となっている。

"エントツ女"出現

エントツ女とは、メータクと同じ戦法で規定のお値段よりお安くして、シケ込むという『お客に立てさせ（料金表）ところよく走らすのだからいいでしょう……』とエントツ女はおっしゃるが恐れ入った次第――

◇陛下を驚かせた母子熊が、みんごと射とめられたという話――栃木県那須林業事務所ではこのほど那須山岳で熊狩りを行ったところ、朝日岳中腹で小熊を連れた二十四余貫の母子熊がに出くわした。小熊は素早く逃げ去ったが、うろうろしていたお母さん熊は射とめられた。この母子熊は那須御用邸付近にいつも散歩？し、この夏天皇陛下を驚かせたのに間違いないと地元では熊祭りを開いて観光客にみせた上、ハク製にして陛下に差上げようといま準備を進めているそうな――（青）

神田医師会館焼く

二十九日午前六時二十分ごろ千代田区神田小川町二の八神田医師会館（責任者木村茂氏）天井裏から出火、同館木造防火造り二階建事務所兼住宅一むね十五坪を半焼して同六時半ごろ鎮火した。原因は漏電らしい。

中山競馬三日目成績（晴馬場不良）

◇第一サ（千）❶キタノオー（勝尾）1分2秒2❷チカラボシ❸マイウエイ（単）320円（複）100円100円100円（連）❹—❶1130円

◇第二サ（千）❶キミオー（高橋英）1分2秒2❷クインメイジ❸タメトモ（単）480円（複）100円100円100円（連）❹—❸1240円

◇第三ア（二千六百）❶ヤヒロ（伊藤英）3分1秒3❷ピュアー [illegible]

[illegible] ル 関学女子ーク（九時、お茶の水大付属中）△女子野球 秋季公式リーグ戦（正午 新宿東生）△競馬（十一時 中山、大井）

カブトヤマ記念は激戦必至

【中山四日目】

京都の菊花賞を目指してメイヂヒカリ、イチモンジ、オートキツが西下したので、あすのカブトヤマ記念は中心馬がいず、果然激戦となった。

△アラブ短距離ハンデ（第九ー千百㍍）トミサチ最近の好成績は注目に値するが、56㌔のハンデは何としても不利。前回の七日目クキンスワロー以下を破ったトーヨーライトは先行する脚もあり、調子もよいので同馬に期待するのが本筋。イワツバメの57㌔も他馬に比して恵まれたものでないが、ステークス五着の成績からはずよいはず。クキンスワローは58㌔でも入線は不可能でなく、フミハルもレース展開次第では着ぐらいには食いこめよう。トーヨーライト、イワツバメ、クキンスワローの順、穴トミサチ。

△カブトヤマ記念（第十ー二千㍍）本来の実力からはヨシフサだし二十七日の調教もよかったが、前回の七日目九頭立の殿りだった点不安。矢張りここは特ハン二着で、当時より僅か二㌔増のダイイチヒガシヤマが有力視される。フクリユウは格下ながら、前回は三日目好タイムでカネエイカンを降しており、今回も二日目グランドトーキー以下を全然問題にしなかった。この成績からは同馬のねらいも大いにある。また60㌔で二千㍍でも、このところ当り続けているサスケハナも勿論問題だし、ヒシタカも特ハンの不振のみでは軽視出来ぬが、順位はダイイチヒガシヤマ、フクリユウ、ヒシタカの順、穴ヨシフサ。

△一般レース予想 ❶ミツル、コンカード、メイジオーの順❷ハリマオー、タエヒメ、スイゴウの順穴ヒハヤ❸レイキング、ミスチカコ、エースの順❹ヒシマサ、ギンカマ、ハチトモの順、穴ヒデノチカラ❺ホマレオー、ヤマイチ、タカギク、穴サクタカ、❻タカノハナ、ミナトタイガー、ハナマサの順、穴ミスショウワ❼タカハギ、ローヤルダツシユ、コマノハナの順❽ラカロータ、ライトアロー、ビヤクリユウの順、穴カブトスイホウ⓫ナスノツキ、キヨカツ、ミノルメイヂの順、穴セイカン。（松本弥一）

続 情炎の千代田城（283）

岩崎栄　寺本忠雄画

春寒く（四）

水盃を交わすと、大久保加賀守は逃げるようにこの邸を辞し去った。

剣士たちも、鉄砲組も、いつの間にか音もなく消えて行った。

重秀と平六が、加賀守を見送って、もとの部屋に戻って来た。と、この部屋に『あっ』とたまげるばかりな怪物が座り込んでいた。

女であることは、すがた、かたち、着衣からもうなずけるのだが、黒いお高祖頭巾に顔を包んでいる。片眼が、えぐり抜いたような穴になっている。下唇がまくれて、イヽヽをした口みたいに、白歯と赤い歯ぐきがむき出されている。ただ、片っぽの眼と鼻だけは、この女が以前はどのくらいの美女だったかを想わせるほどに、涼しく鮮かに立派なのだ。そして、片手を膝にちゃんと置いているが、もう片方の腕は何か手先きを赤い絹で包んだ義手らしい。小太刀を一口、腰にさしている。

あっけにとられて、部屋の入口に棒立ちの主従へ、怪物の片眼と、イヽヽの歯ぐきが笑いかけて来た。気味のわるい微笑である。

『まァお座りなさいよ、お二人とも』

怪物の挨拶だ。落ちつき払っている。

『ほゝゝゝ』

イヽヽの口が、きれいな笑い声をたてて、

『荻原の旦那！長井さんも、このわたしをお見忘れかね』

平六がそこで、ポンと膝をたたいた。

『おお！おまえはお梨花……さんだな』

『そうよ。さすが悪党だけに、カンはいいねえ、相変らず』

重秀が唸るように、

『ふうん！あの、これがあの……』

といいながら、自分の座に来て腰をおろした。

『一たい、これァどういうことだ』

平六もお梨花の前に来て、のぞき込むように座る。

『さて長井さん、そのせつはいろいろと』

『ゆるしてくれ。あやまる。このとおり』

平六は両手をついて頭をさげた。

『えらい！さすが悪党だねえ』

『何もそう、悪党を合の手にすることもなかろうぜ、おまえだってシタタカな悪党だ』

『それァそうね。じゃァまァお互さまとしておきましょう。が、さて今晩は！』

『うん、さてこんばんわ！だがあの凄いようなお梨花姐御が、ぜんたい、どうしたというのだ、そのありさま……』

『お話し申すも涙のタネ。先ず一と通り、お聞きなされて』

『じょうだんでなく』

『地獄火にやられたのさ。去年の冬の新井白石征伐でね』

『ああ、あれで……』

『ときに、荻原の旦那！こちらさまもいよいよの断末魔じゃござんせんか。こと、ここに及んで、この瀬戸をどう切り抜けるご所存なのです？まさかさっきのあの大久保のやつとのやり取り——あのいさぎよく腹を切る旦那でもござんすまいに』

『ぬすみ聞きしていたか』

『はい』

重秀と平六は、互いに複雑な視線を見交わしている。

『ねえ、もし！』

お梨花は急にかたちを改めた。

『ものが間違うから、前もって申し上げときますよ。あたしゃ、今夜こゝへ、お味方するつもりで罷り出てるんですよ。ようござんすか』



今週の顔　青山杉作

『あ ん』なもの青山先生受け取るのかなあ』『そのようなものを戴くほど、私はまだ年を取ってはおりませんって断わるぜ、きっと』——第二回紫綬褒章受章者十四名の顔ぶれが発表された日に、弟子の悪童どもはこんなウワサ話をし合っていたものだ。すると翌日になって吉川英治、小場恒吉二氏が受章辞退を明らかにした。そこでまた弟子どもは『先生病床にいて他人に先を越されたね』『ウン、こうなりゃやっぱり貰うよ。先生、人の真似するの嫌いだからね』——おセッかいな話である。当の青山杉作は麻布飯倉片町六番地の家で寝ている。昨年十一月『若人よ蘇れ』に大学教授の役で出演中倒れて以来ほぼ一年だ。病名は心筋梗塞及び何とかいう大変難かしいもの。青山邸の隣りにはこれまた俳優座の御大千田是也がロクマクで休養中。何れにせよ、ご両人とも過労が祟ってのことだ。

彼 の 功績について演劇評論家遠藤慎吾氏は、『日本の新劇の演技面の基礎を築いた人でしょうね。現在のベテラン俳優達で青山さんから直接間接の演技指導をうけなかった人は一人もないといっていいでしょう』という。昨年で三十周年を迎えた日本新劇運動のさきがけ、築地の劇場ができる数年前に彼は村田実、木村修吉郎、岸田辰弥、関口存男などと『素朴なリアリズムを基調とした小劇場運動"踏路社"を始めたのです—中略—私たちは何とかして従来の紋切型の芝居の習慣、例えばセリフを"セリフ声"できかせることや、大げさな身ぶりをみせる技巧から逃がれたいと思いました。生活に忠実であることが私たちの舞台創造の基本になりました——』（『俳優座十年の歩み』青山杉作の序文）

築地には故小山内薫、土方与志という指導者がいたがこの二人には演技経験はなかった。ところが青山は踏路社時代から『私たちは演出者も俳優としての経験が必要だと考えたので、交互に演出したり俳優になったり』（前掲序文）だったから東屋三郎、友田恭助、汐見洋、田村秋子、丸山定夫、千田是也、三島雅夫、滝沢修といった人々を"新劇俳優"として育てて行ったわけである。



百科全書的な博識家

——日本新劇界の演技面育ての親——

そ の ほかにも昭和四年ごろからレビュー黄金期の十二、三年まで松竹少女歌劇団の演劇部長をつとめ、新人の養成、脚本、演出もやっているし、日本で初めて大編成のオーケストラを使って『真夏の夜の夢』も上演した。従って新劇という狭い世界のみでなく、日本の新しい舞台芸術の功労者としてはNO・1の至宝的存在なのである。

千田が芝居以外のことでは余り興味がないのに対して、彼は洋の東西知らぬことはない位の百科全書的博識家で、自ら飲まない洋酒のこと、行ったことのない外国の田舎町や、宝石の眼利きから、さらに、仏典、インド哲学、サンスクリット（古代インド語）にも詳しい。それでいて『勉強するやつはボク嫌いなんだなあ』という逆説的表現が好きだ。そこでいま日活にいる二期生の少々オッチョコチョイな光沢デンスケが嬉しがって『先生ボク勉強大嫌いなんです』といったところ、即座に『ボク怠けものはもっと嫌いなんだなあ』とやっつけたという話が伝わっている。六十六才だが、いまなお枯れることを知らぬ水々しいスタイリストだ。病気回復次第、真先にジャン・アヌイの『泥棒たちの舞踏会』を演出する予定。

≪A・V≫

またもめる吉右衛門劇団

"奥役"の横暴に不満　名古屋公演で表面化す

一時は分裂を予想されていた吉右衛門劇団はその後辛くも小康状態を得て幸四郎歌右衛門、勘三郎、又五郎の合議制による運営で結束を固めようという気運に向っていた。ところが十月の名古屋興行で、またまた、従来から同劇団の結束を阻む原因としてとかくのうわさがあった"奥役"が俳優たちの利益を全く無視した行動をとったことから一悶着が起り、この根本問題が徹底的に改革されぬ限り、同劇団の強力な結束は望めないものとしてその成行きが大きく注目されるにいたった。

同劇団は七月東宝歌舞伎に出演の際のゴタゴタを導火線に、内部のモツレが表面化したが『劇団を弱体化してはいけない』という又五郎はじめ一線俳優たちの熱意によってその後、結束への気運が高まりつつあった。この現われとして九月歌舞伎座では吉右衛門一周忌追善の口上で勘三郎が『いろいろ噂もあるが私たちは一層団結を固くする』と異例の発言を行ったりした。ところがこんど月名古屋御園座での公演は連日大入り続きだったにもかかわらず劇団としての収入は少く、劇団員の待遇も普通以下で中には手当を半減されるものも出る始末だった。おまけに通常五十円のプログラムを八十円で売りつけねばならぬほどギリギリの興行を打たねばならなかった。

この原因について関係者の話を総合すると、同劇団の"奥役"は吉右衛門在世当時三越衣裳部をやめて劇団に入り現在実質的な経営権を握っている根岸専務と、狂言方出身で竹柴金作の名でも劇団に籍があり松竹の演劇関係有力者とつながりを持つ小田島支配人の二人だ。これまで地方の興行主との折しょうは小田島氏が当っていたところ、こんどは根岸氏が乗りだしてきた。歌舞伎の地方公演では箱根を越えると関西松竹の手に移ることになっているが同劇団の場合は、吉右衛門が地方公演を松竹の手でやることをきらっていたため興行主と直接取引を行なうのが慣例となっている。これは中間に会社側からも何人もの奥役が介在して、ぼう大なサヤ稼ぎをされることを防ぐ意味からだった。

小田島氏は従来から種々の噂が多かったが、根岸氏はこれをケン制するため自ら地方興行にも手をつけたと噂されている。このため自分の儲け分が減ったので小田島氏は種々策動したといわれ、その結果同氏扱いの俳優は手当も相当考慮された。その上前記松竹の有力者が特に扱かった地方（ジカタ）の清元志寿太夫一行の給料は通常の約三倍とみられる百五十万円にのぼった。さらに一説によれば、同劇団が地方興行をする時のプログラムは小田島氏の手で作成、これを劇団で興行主にオロして収入を図っているが、このサヤ稼ぎも行われているという噂だ。だからこれを八十円という値で客に売りつけた陰には、予算超過の克服対策もさることながら相当大幅なサヤ稼ぎが行われたという見方も成立する。

おまけに劇場側では予算超過で大アワテ。だが舞台の経費はけずる訳にいかぬため、片道劇場持ちの交通費を"名題以上は二等"という原則を破って名題役者の一部を三等に乗せたりした。そんなこんなで劇団員の不満も相当高まった。ところがこの気配を察した根岸氏は、この原因は小田島氏にありと称くフンガイ、一部の人たちに『彼を片づけねば永久に劇団の改革など駄目だ』と語っていたといわれるが、遂に千秋楽近い数日前、劇団員たちの前で『小田島をやめさせて、私もやめる』という重大な発言を行なった。この問題は、とにかく責任者がハッキリとした形で表面化して言明したで[illegible]いる。だが、根岸氏に対しても『私腹をこやした』[illegible]島氏と五十歩百歩[illegible]あってその成行きが注目される。



スターのいる町　目黒界隈（その四）

挨拶されて横をむく？　近視で損をする角梨枝子

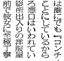
つ い最近目黒区で優秀納税者の表彰式なるものをやったがその筆頭は角梨枝子だった。彼女はその意味では大変模範的な区民であるらしいが住んでいる大原町の人にいわせると『大きな声ではいえませんがね角さんという人は案外ものを覚えが悪いのではありませんかね。この間もバッタリ道で会ったからご挨拶したのですがね。不思議そうな顔をしてヒョイと横を向いてしまいましたよ。まあアタシなんかのことは忘れるのも無理はないのですがね』といった男がいる。近所に住む植木屋のおじさんである。彼女のこの癖は有名で、ひと頃は撮影所でも愛想が悪くて生意気だと随分かげ口をいわれたものである。しかしこれも彼女が近視のせいなのだから気の毒といえば気の毒だ。



角梨枝子

さてある晴れた日の午後のことである。彼女は珍らしく仕事がないので家に引っこんでいた。蝶々夫人でなくても"ある晴れた日"などというものは気持がいいものだ。そこで読書にもあきた彼女はあまり広くもない庭だが、とにかく気持のよい太陽の光線にさそわれて庭下駄をつっかけた。手入れのゆきとどいた植木は、それぞれの青い葉ッパを空いっぱいにさしのばして、折からのソヨ風をたのしんでいた。ところでふと見るとその中で一枚変に丸くなった葉があるのに気がついた。何気なく指をふれた彼女はキャッといってそのまま化石のように立ちつくしてしまった。以来彼女はあまり庭に出なくなったそうだ。つまりその丸い葉ッパはイモ虫であり、それほどに彼女は近視であったわけなのである。

近 眼といえばもっと凄いのがいる。元SKDのプリマドンナであり、劇団タンポポでターキーの相手役をやっていた現在日活専属の山村邦子がそれで、この街に住み彼女は角以上の近視眼である。ただし彼女の場合は誰にでも『コンチワ』ということにしているから、いまのところ悪口はいわれていないが、撮影所出入りの洋服屋が守衛室の前で彼女に至極丁寧に挨拶されて恐縮したなんて話はザラにある。



岩井半四郎

また宮前町まで足を延ばすととっつきのところに岡田茉莉子の家がある。いかにも彼女の住居らしく洒落た感じの家だが、およそ彼女はここにいたことがない。もっとも夜ともなれば帰ってくるのだが、殆んどは仕事だ映画だ、パーティだと飛び歩いているようだ。従って近所にいても岡田茉莉子の顔を見たことがないという人が多い。それだけに彼女は売れッ子というわけなのだろう。まずはメデタシメデタシである。



岡田茉莉子

そ の他川田晴久と一緒にミルク・ブラザースなどをやっていた有木三太もこの町内に住んでいるが、ちかごろ腹がせり出してきたといって流行のボディ・ビルをやっている。宮ケ丘に行くと岩井半四郎が例の頭のテッペンから出すような声をふりしぼって長唄などおさらいしている。しかも彼は最近スットン狂な癖ができたというのが近所の評判だ。町を歩くとき踊りの手を稽古しながら歩くというのである。まあちか頃は半四郎といえば知らない人もないだろうが、小プトリに肥ったいい若い者が『ツンツン、テン』などと口三味線で歩いていればとんだ"酢豆腐"といったものだろう。あまり役者らしさを振りまくと、とかく芳しからざるうわさをまねくといったものらしい。その点平町に住む島田正吾、柿ノ木坂の宇野重吉などは街の受けもいいし、本来が家庭的なので悪評はない。まったくスタアたるものはオチオチ散歩もできませんというわけのものではある。



島田正吾

【次回は来週土曜日、麻布界隈】



『絵島生島』の淡島千景（右）と市川海老蔵

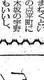
映画やぶにらみ　美しい絵巻物

絵島生島（松竹）

▽…徳川幕府の中期、江戸城の大奥は絶大な権力を持って陰に陽に政治にも容喙し、特に将軍の代替りの時などにはその暗闘がすさまじかった。そうした時代背景の中で、七代将軍家継の生母月光院（高峰三枝子）に仕える奥女中絵島（淡島千景）と歌舞伎の人気役者生島（市川海老蔵）との悲恋物語がくりひろげられている。原作舟橋聖一、演出大庭秀雄。

▽…月光院の密事を知ったのが縁で絵島は生島にひき合わされ、二人の間には激しい恋が芽生えるが、やがてまた二人のそうしたささやかな幸福は、大奥政治のかけひきの犠牲となって無残にも踏みつぶされてしまう。個人のあがきだけではどうにもならない時の流れ、人の運命といったものを大庭監督は判りやすく悠々と描きあげる。豪華なキャストと相まってこれがいかにも大作というにふさわしい風格を醸し出している。海老蔵、松緑、梅幸などによる劇中劇も天然色だけにケンランたる絵巻物のような美しさだ。欲をいえば月光院にしろ、絵島にしろ、その情事の描き方がサラッとし過ぎていて濃艶さに欠けたうらみはある。大庭監督のいう"女性の生理の悲しさ"というものが惻々として胸に迫らないのもこゝに起因している。いずれにせよ淡島、高峰はそれぞれ気品もあり好演。団十郎の役で登場する松緑が特に印象的だった。（静）

都々逸名選　小沢扇太郎選



たよりにならない電話の返事　受話器が冷たい秋の雨　神楽坂・藤村家路子

これで来なけりゃあきらめましょう　赤いランプの終電車　向島・お駒

寓という字の表札かけて　旦那をときどき送り出す　北・松本いはを

今朝は他人でない肩抱いて　深い谷間の山の宿　蒲田・大塚雪涼

一人歩きは肩身がせまい　熱海銀座の宵景色　前橋・川端柳

◇

ガラス障子の壊われる音が　派手なとなりの痴話喧嘩　選者

≪本紙愛読者優待≫

第一回本牧特選会　講談と新内の寄席　於 上野・本牧亭

本社では講談と新内ファンへの読者サービスとして、左記の如くご優待割引いたします

……特別番組……

姿三四郎　講談　田辺南遊
西遊記　講談　神田松鯉
加賀騒動　講談　宝井馬琴
おさん茂兵衛　新内　岡本文弥
宗五郎甚兵衛の渡し　講談　小金井芦洲

…各師長講…

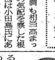
▽日時　十月三十日　夜六時から。

▽この社告の切抜きを当日会場に御持参の方に限り通常料金一〇〇円を七十円でご優待割引いたします。

内外タイムス社

講談研究会　三十日正午、本牧亭。芦洲、伸、麟慶、[illegible]鶴が口演。

はと笛



▽…日活の新人中川姿子[illegible]

今晩のラジオ　29日（金）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 子供のシンフン◇みんなで歌えば　古賀さと子他 40 スポーツだより	05 英語会話　松本亨 15 記者手帖から 30 スタジオ演奏会	10 東西こぼれ話　富野アナ 15 スイートコンサート 25 ぴよぴよ大学　河井坊茶	00 劇『少年宮本武蔵』 10 陽気な一家　関弘子他 45 スポーツニュース	00 リズム・ア・ラ・カルト 15 劇『覆面の騎士』 30 音楽　エデイ岩田と楽団
7	00 ニュース◇天気予報 30 クイズ大会（放送芸能祭特集）渡辺紳一郎他	00 映画音楽　解説関光夫 30 青年学級の友へ　座談会新しい弁論　中島健蔵他	20 ホームソング『秋草の歌』他　奈良光枝　ひばり 30 どうしまショウ桜京美他	00 録音ニュース 10 ルンバ　サビア・クガー 30 アベツク歌合戦トニー谷	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ深川とも子 30 ❶落語　桂小文治❷漫才
8	15 なつかしのメロデイ特集　藤山一郎　奈良光枝　渡辺はま子　市丸他　音羽ゆりかご会　放送管弦団	00 ニュース 05 山城少掾独演会　菅原伝授手習鑑　寺小屋の段　豊竹山城少掾	00 ミュージカルコメデイ花嫁募集中　森繁久弥他 30 浪曲『次郎長伝』荒神山　広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢　司会水の江滝子 30 ユーア・ヒツトパレード　歌ロツサノ・ブラツツイ	00 スイング・メロデイ　二人でお茶を　桔梗他 30 雪村いづみショウ　ゲスト高英男　愛の讃歌他
9	00 ニュース解説　藤瀬五郎 15 連続放送劇『おけらの歌』東野英治郎　北原文枝 40 時の動き	30 スポーツショウ第十回国民体育大会を迎えて　横浜　川崎　平塚　藤沢各会場　各県代表の横顔	00 ニュース◇天気予報 10 歌謡曲　島倉千代子他 40 劇『雷電』佐野浅夫　志水辰三郎　米宮良子他	00 新喜劇『泣き笑い芝居横丁』　渋谷天外他 00 劇『この世の花』真木恭介　丹阿弥谷津子他	00 劇『太郎行くところ』司葉子　大川太郎他 30 古今東西恋物語　筑紫まり　高英男他
10	15 今日のニュース特集 30 幸福を拾った話　市村俊幸他	00 高等学校講座❶解析　佐藤忠❷英語　梶木隆一	15 今日のニュース（読売） 25 絵のない物語	00 大学受験秋期実力養成講座　英文法　野原三郎他	00 歌謡曲　津村謙　吉岡妙子　若原一郎　春日八郎
11	00 天気予報◇お話 20 サインブック村岡花子作	30 家庭と学校　子供はこう書く　小島忠治	00 音楽の星座 30 政局の動き◇お知らせ	00 国際　高倉徳次郎 30 映画音楽 ニュース◇天気予報	00 唄ごよみ 15 週間ニュース解説

テレビ

★NHK★ ●6・00 親子クイズ ●6・30 今晩はメイコです ●7・00 連続劇『かつぱ川太郎』 ●7・30 クイズ大会 ●8・50 流行は巴里から

★NTV★ ●6・00 劇『消えたお供物』 ●6・15 趣味の手品教室 ●6・30 素人のど競べ ●7・00 暮しのセンス ●7・30 なんでもやりまショウ ●8・00 浅草公園劇場大江美智子劇中劇

★KR★ ●6・00 映画『花と昆虫の闘柄』 ●6・50 テレニュース ●7・00 琵琶と端唄　水島錦耀他 ●8・00 児童映画 ●9・00 読売ニュース ●9・10 劇『日東名氏飛び出す』